

2017年3月期 第2四半期 決算説明会



平成28年12月1日

- I. 2016年3月期 第2四半期連結決算業績**
P 3～P 11

- II. 2017年3月期 連結決算業績予想と展望**
P 12～P 15

I. 2017年3月期 第2四半期決算概要

2017年3月期 第2四半期 業績概要

(単位：百万円・%)

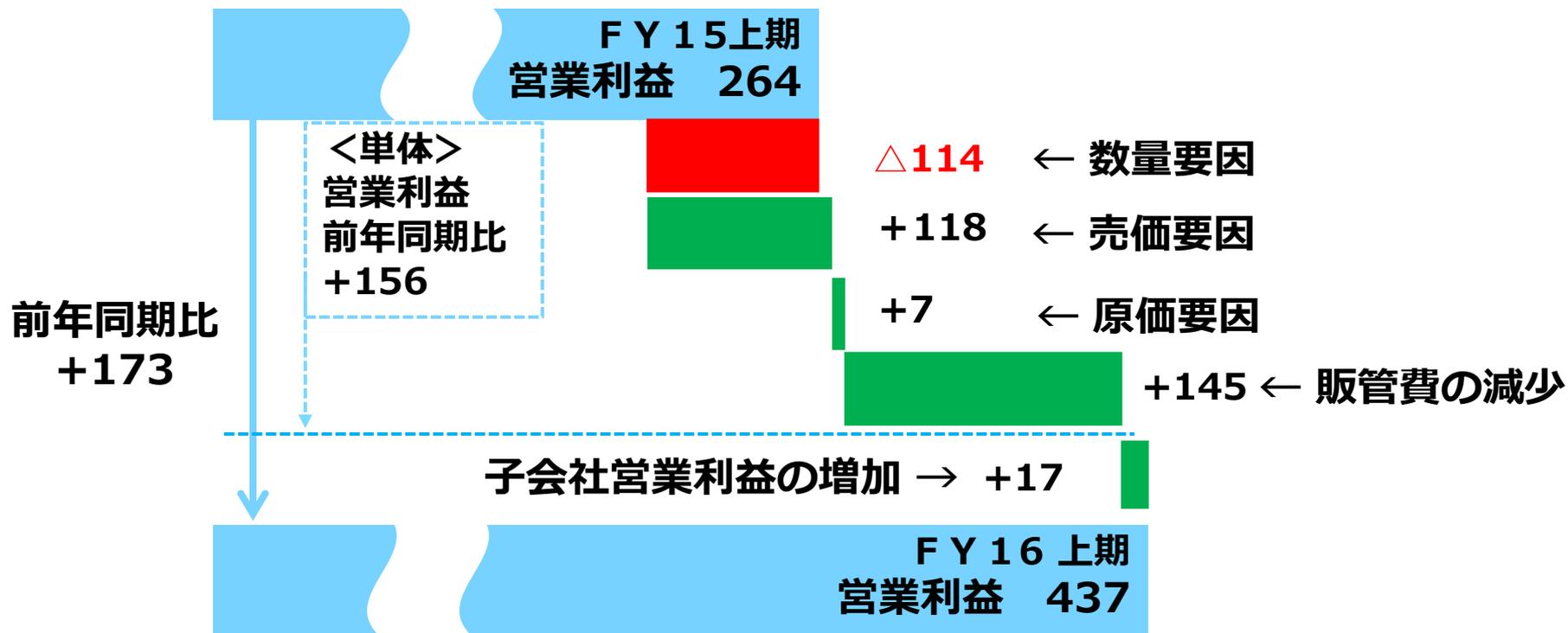
	連 結					単 体		
	FY15上期 (a)	FY16上期		前年同期比 増 減 (c-a)	計画比 増 減 (c-b)	FY15上期 (d)	FY16上期 (e)	前年同期比 増 減 (e-d)
		計画値 (b)	実績 (c)					
売上高	9,698	7,980	7,775	△1,922 (△19.8)	△205 (△2.6)	7,256	5,739	△1,516 (△20.9)
営業利益	264	350	437	+173 (+65.4)	+87 (+24.9)	263	420	+156 (+59.4)
営業利益率	2.7	4.4	5.6	+2.9pt	+1.2pt	3.6	7.3	+3.7pt
経常利益	297	375	437	+140 (+47.1)	+62 (+16.5)	299	421	+121 (+40.7)
当期純利益	195	250	296	+100 (+51.6)	+46 (+18.4)	199	285	+85 (+43.0)

<サマリー>

- ①連結売上高は、前期に実施した医療栄養食事業の撤退や工場閉鎖及び低採算品の統廃合などの事業構造改革並びに大連YSKの出資分の全部譲渡による連結除外に伴い、合計で前期比△1,922百万円(△19.8%)の減収となった。
- ②連結営業利益は、事業構造改革による低採算事業の撤退や赤字品の削減などにより収益性が改善し、営業利益額が前期比+173百万円(+65.4%)増となり、営業利益率も2.7%⇒5.6%と+2.9ptの大幅改善となった。
- ③連結経常利益は、円高による外貨預金の為替差損増加などにより前期比+140百万円(+47.1%)減となった。
- ④特別損益は特筆すべき計上は無く、連結四半期純利益は、前期比+100百万円(+51.6%)増となった。

2017年3月期 第2四半期業績 〈対前年同期比〉

(単位：百万円)



セグメント別 売上高・営業利益

<セグメント別売上高・営業利益>

(単位：百万円)

	FY15上期		FY16上期				前年同期比 増減		上期計画比 増減	
	売上高	営業利益	計画値		実績		売上高	営業利益	売上高	営業利益
			売上高	営業利益	売上高	営業利益				
調味料	4,431	354	4,035	407	3,910	414	△521	+60	△124	+7
機能食品	2,748	271	1,705	255	1,575	294	△1,173	+23	△129	+39
水産物	1,894	△1	1,555	3	1,609	3	△285	+4	+54	+0
その他	622	△39	685	0	679	25	+57	+65	△5	+25
全社	-	△319	-	△315	-	△299	-	+19	-	+15
合計	9,698	264	7,980	350	7,775	437	△1,922	+173	△204	+87

※売上高は外部顧客に対する売上。2016年3月期第4四半期より販売費及び一般管理費の配賦方法を変更し、FY15上期を遡及。

<サマリー>

- ①調味料は、液体調味料が大連YSKの連結除外による減収のほか、粉体調味料はCVD製品の受注は堅調に推移したものの、具材製品の低採算品の整理や受注減などもあり、△11.8%減収。営業利益は値上げ及び低採算・赤字品の品目整理などにより+17.0%増益。
- ②機能食品は、医療栄養食事業の撤退のほか、健康食品市場の競争激化に伴う減収などにより、売上高が△42.7%減収。医療栄養食事業撤退によるコスト負担減もあり営業利益は+8.8%増益。
- ③水産物は、海外（韓国）輸出が減少したほか、鮪のOEM加工の取扱い魚種の変更（本鮪・南鮪の減少、バチ鮪・キハダ鮪の増加）に伴う減収などもあり、△15.1%減収。営業利益は経費削減効果により、前期の赤字から黒字化。
- ④その他は、通販を含むその他商品類の販売で、売上高は前期比+9.2%増収、営業利益も前期の赤字から黒字化。

調味料

<調味料の売上構成>

(単位：百万円)

	F Y 15 上期	F Y 16上期		前年同期比 増 減	上期計画比 増 減
		計画値	実績		
液体調味料	1,688	1,580	1,532	△155	△47
粉体調味料	2,544	2,330	2,260	△284	△69
香辛料	198	125	117	△81	△7
売上高 合計	4,431	4,035	3,910	△521	△124
営業利益 合計	354	407	414	+60	+7
営業利益率	8.0%	10.1%	10.6%	+2.6pt	+0.5pt

※売上高は外部顧客に対する売上。2016年3月期第4四半期より販売費及び一般管理費の配賦方法を変更し、FY15上期を遡及。

<サマリー>

(売上高)

- ・液体調味料は、大連YSKの連結除外△122百万円が主因となり売上高は△155百万円減収。
- ・粉体調味料は、具材製品が低採算品の整理や受注減で△165百万円減となり売上高△284百万円減収。
- ・香辛料は、低採算・赤字品の品目整理を行った影響で△81百万円減収。

(営業利益)

値上げ及び低採算・赤字品の品目整理により収益性が改善し、営業利益率が8.0%⇒10.6%に改善。

機能食品

<機能食品の売上構成>

(単位：百万円)

<参考：素材別売上構成>

(単位：百万円、%)

	FY15 上期	FY16上期		前年 同期比 増減	上期 計画比 増減
		計画値	実績		
機能性食品素材	1,117	1,130	1,039	△78	△90
機能食品	577	575	536	△40	△38
医療栄養食	1,054	0	0	△1,054	±0
売上高 合計	2,748	1,705	1,575	△1,173	△129
営業利益 合計	271	255	294	+23	+39
営業利益率	9.9%	15.0%	18.7%	+8.9pt	+3.7pt

	FY15 上期	FY16 上期	前期比
グルコサミン類	1,101	1,035	△66 (△6.1)
うちNAG	1,003	942	△60 (△6.1)
コラーゲン類	145	114	△30 (△20.9)
アンセリン類	165	211	+46 (+27.9)
その他	282	214	△68 (△24.2)
機能性食品素材 ・機能性食品 合算合計	1,694	1,575	△118 (△7.0)

※売上高は外部顧客に対する売上。2016年3月期第4四半期より販売費及び一般管理費の配賦方法を変更し、FY15上期を遡及。

<サマリー>

(売上高)

- 機能性食品素材は、アンセリンが順調に受注増となっているものの、主力のN-アセチルグルコサミンの苦戦が大きく前期比△78百万円減収。
- 機能食品は、大連YSKの連結除外△24百万円及びUMIウェル初の新NAG販売苦戦で前期比△40百万円減収。
- 医療栄養食は、事業撤退により前期比△1,054百万円減収。

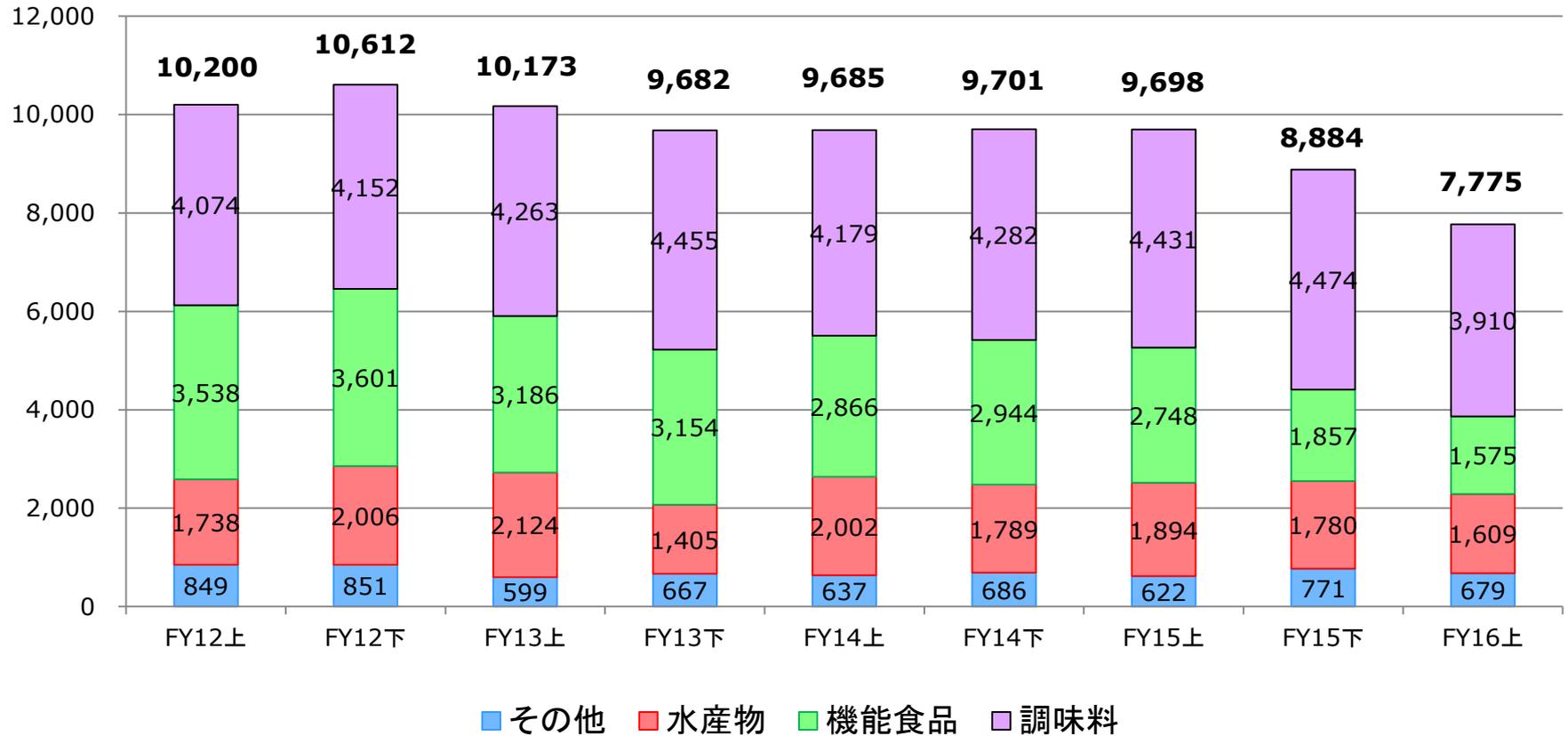
(営業利益)

- 医療栄養食の撤退によるコスト負担減、営業利益は+23百万円増、営業利益率は9.9%⇒18.7%に改善。

売上高の半期推移

半期毎の売上高

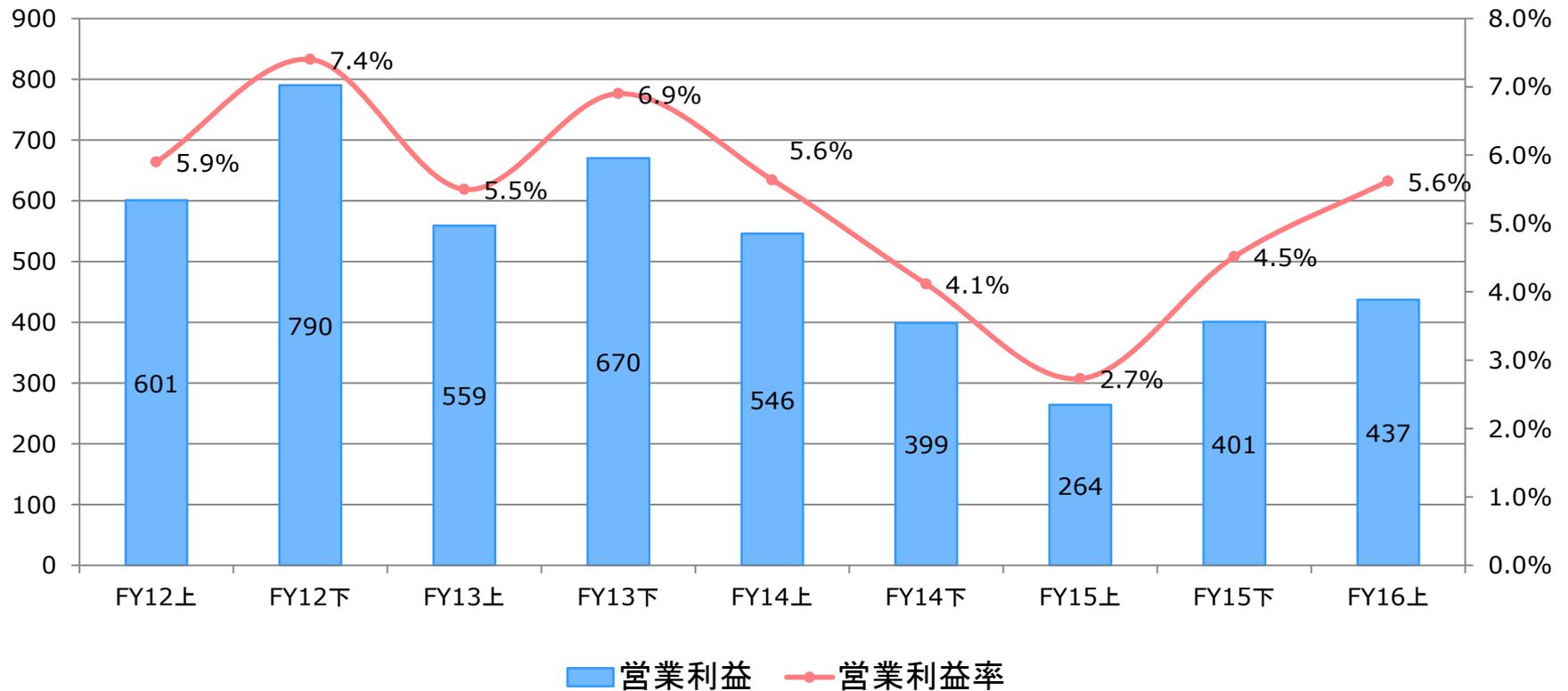
(単位:百万円)



営業利益の半期推移

半期毎の営業利益

(単位:百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2016年3月末	2016年9月末	増 減	主 な 内 容
資 産 の 部	流動資産	13,580	13,305	△275	たな卸資産+67 現金及び預金△162、受取手形・売掛金△56
	固定資産	9,024	8,967	△56	投資有価証券+161、建物及び構築物△38、 機械装置及び運搬具△166、建設仮勘定△40
	資産合計	22,604	22,272	△332	
負 債 ・ 資 本 の 部	流動負債	3,737	3,126	△611	短期借入金△455、未払消費税等△204、 一年以内返済予定長期借入金△100、 支払手形及び買掛金+157、未払法人税等+44
	固定負債	203	249	+46	繰延税金固定負債+48
	純資産	18,663	18,896	+232	利益剰余金+122、 その他有価証券評価差額金+110
	負債・純資産合計	22,604	22,272	△332	

II. 2017年3月期業績予想と今後の展望

2017年3月期 連結業績予想（概要）

（単位：百万円・％）

	2016年3月期			2017年3月期（予想）						
	上期	下期	通期	上期		前年同期比 （実績）	下期計画	前年同期比 （計画）	通期計画	前年同期比 （計画）
				計画	実績					
連結売上高	9,698	8,885	18,583	7,980	7,775	△1,922 （△19.8）	8,020	△865 （△9.7）	16,000	△2,583 （△13.9）
営業利益	264	401	666	350	437	+173 （+65.4）	450	+49 （+12.2）	800	+134 （+20.1）
経常利益	297	379	677	375	437	+140 （+47.1）	475	+96 （+25.3）	850	+173 （+25.5）
当期純利益	195	438	634	250	296	+100 （+51.6）	290	△148 （△33.8）	540	△94 （△14.9）

<サマリー>

- （1） 売上高は、上期計画未達となった製品をリカバリーすべく、増販となった製品群での販売推進を行い、通期での期初計画達成に取り組む。
- （2） 営業利益は、引続き①高採算商品の拡販、②生産効率の改善、③経費削減に取組み、来期に向けた高収益体制の維持に取り組む。

2017年3月期 連結業績予想 (セグメント別売上高)

(単位：百万円)

	2016年3月期			2017年3月期 (予想)						
	上期	下期	通期	上期		前年同期比 (実績)	下期計画	前年同期比 (計画)	通期計画	前年同期比 (計画)
				計画	実績					
調味料	4,431	4,475	8,906	4,035	3,910	△521	4,095	△380	8,130	△776
液体	1,688	1,748	3,437	1,580	1,532	△155	1,640	△108	3,220	△217
粉体	2,544	2,600	5,145	2,330	2,260	△284	2,350	△250	4,680	△465
香辛料	198	125	324	125	117	△81	105	△20	230	△94
機能食品	2,748	1,858	4,607	1,705	1,575	△1,173	1,710	△148	3,415	△1,192
機能性食品素材	1,117	1,113	2,231	1,130	1,039	△78	1,105	△8	2,235	+3
機能食品	557	560	1,137	575	536	△40	605	+44	1,180	+42
医療栄養食	1,054	184	1,238	0	0	△1,054	0	△184	0	△1,238
水産物	1,894	1,780	3,674	1,555	1,609	△285	1,520	△260	3,075	△599
その他	622	771	1,394	685	679	57	695	△76	1,380	△14
合計	9,698	8,885	18,583	7,980	7,775	△1,922	8,020	△865	16,000	△2,583

<サマリー>

- ①調味料は、上期計画未達の主因となった具材をリカバリーすべく当社技術を活かした液体、CVD製品の販売推進に取り組む。
- ②機能食品は、上期遅延した機能性表示食品申請の受理を見込むほか、アンセリンの更なる増販を見込む。
- ③水産物は、上期計画は上回ったもののOEM受託加工の減少、海外輸出の減少などから通期計画並み。

2017年3月期 連結業績予想 (セグメント別営業利益)

(単位：百万円)

	2016年3月期			2017年3月期 (予想)						
	上 期	下 期	通 期	上 期		前年 同期比 (実績)	下期計画	前年 同期比 (計画)	通期計画	前年 同期比 (計画)
				計画	実績					
調 味 料	354	300	654	407	414	+60	388	+87	795	+140
機 能 食 品	271	349	620	255	294	+23	287	△62	542	△78
水 産 物	△0	9	8	3	3	+4	15	+5	18	+9
そ の 他	△39	△24	△64	0	25	+65	△5	+19	△5	+59
全 社	△319	△232	△551	△315	△299	+19	△235	△2	△550	+1
合 計	264	401	666	350	437	+173	450	+48	800	+133